

けあなる No.45

■発行:社会福祉法人創和会
町田市成瀬台3-24-1 Tel.042-720-2202

<http://www.ccnaruse.com>
創和会HP用QRコード ⇒



～ケアセンター成瀬デイサービ新年の抱負～

デイサービス主任 山田康明

私は、令和元年に創和会に入社し、ケアセンター成瀬・デイサービスで勤務を始めました。しかしその年の秋からコロナ緊急事態があり、それまで実施していたイベント全てが中止となりました。利用者様も利用を控える事態となりました。

昨年からは、コロナウイルスも5類感染症に移行しましたが、まだまだ感染者数は、水面下で多いようで、高齢者施設としては油断ができません。

そのような状況の中で、デイサービスでは感染対策をしながら、今後、徐々に出来る事を増やしていこうと思っています。利用者様が来所されて季節感がある雰囲気作りの中で、笑顔で楽しくしていただけるようにプログラムを立てています。

近隣地域のボランティアさんの協力を得て行われている、本会デイサービスの売りである多様な趣味活動（書道、絵手紙、カラオケ、麻雀、折り紙、寄木細工、囲碁など）や、「くもん学習療法」を通して、利用者様が新たな生きがいや楽しみを見つけられるように、職員一丸となって益々力を入れて参ります。

また、ケアセンター成瀬のデイサービスの広い中庭を活用して花を植えたり、菜園づくりを利用者様と一緒にいき、自然に触れて楽しんで頂きたいと考えております。

そのほか当会の芸達者な職員によるギターやウクレレ、ハープの演奏など、季節ごとの演奏会は利用者様の楽しみの一つになっています。

今後デイサービスでは感染対策に留意しながらではありますが、地域のサークルや団体の皆さん

によるイベントの受け入れを考えております。

これからも利用者様に楽しいひと時を提供していくことを念頭に頑張っております。

地域の皆様にご支援ご声援を頂いていることに感謝しつつ、今後ともケアセンター成瀬デイサービスの応援をよろしくお願いする次第です。

【写真】

デイサービス職員一同 前列、右から3番目が山田主任





デイサービスではお正月の1月5日～11日に「新春祝賀週間」と題して、イベントを行いました。

この週間の昼食は厨房「暖」の心づくしの松花堂弁当でした。

また、職員有志が集ってこの日のために約2カ月前から準備・練習をして利用者様に出し物を披露させて頂きました。

今年はドライバー伊集院職員の手作りによる獅子頭が出来上がり、皆様に獅子舞をお披露目する機会がありました。「手作りとは思えない！」と獅子頭の出来は大好評でした。

さらに恒例の「傘回し・南京玉ずだれ」、「マツケンサンバ」、「ギター&ウクレレ演奏」もあり、利用者様の手拍子や歌声で大変盛り上がりました。「ギター&ウクレレ演奏会」ではドライバー松田職員が自身の作詞・作曲による「太陽がいっぱい」を演奏して皆様と一緒に歌いました。また、今年のハーブ演奏は、ハーブ2台による二重奏で、利用者様はじっと耳を傾けたり口ずさんだりして楽しまれました。



(デイサービス 菅原聡)

ヘルパーステーション

～ヘルパーステーションの現状～



今回はヘルパーステーションの現状やお仕事についてお話しします。

ホームヘルパーは現在様々な問題を抱えています。その中でも人手不足は大きな問題です。

介護を必要としている方は増える一方ですが、ヘルパーの派遣はその数が追いついていないのが現状です。現在ヘルパーステーションに登録しているヘルパーさんは合計35名です。ヘルパーの高齢化も進み、80代の方が3名います。

巷に介護難民という言葉が言われていますが、「本当に必要な時にヘルパーによる介護を受けられるのか？」という不安があると思います。介護を受けずに元気でいられることが一番ですが、まずはヘルパーについての理解を深めて頂きたいと思います。

そもそもヘルパーはお手伝いさんではありません。ヘルパーは資格を持って、利用者様の身体、生活の援助をします。皆様のご自宅に限られた時間の内で、お伺いします。但し、ご希望の時間、曜日にお伺いできないこともあります。介護保険内で行えることやケアマネジャーのプランに書いてあることを行います。

簡単に言うと、生活援助とは本人の自立を目指して、安心・安全に日常生活が送れるように支援をします。例えば、大掃除、細かいお掃除、おもてなし料理などはできません。

文章ではなかなか想像しにくいかと思しますので、今回はヘルパーの1日を密着レポートします。

具体的に、「どのような場所でどのような方の支援をしているのか」をお伝えできればと思います。

(ヘルパーステーション成瀬 石田尋子)

9月 夕涼み会(花火)・敬老会

夕方から外に出て、かき氷やジュース、ピールで喉を潤してから花火を楽しみました。その後、近所の神社の例大祭に参加し、催し物を見たり出店で食したりと楽しい一夜を過ごしました。敬老会では各自がメニューを見ながら好きなお寿司を選ぶことから楽しみが始まり、お皿に乗り切らないほどのお寿司の方もいて大満足のようでした。午後からは余興や踊りを楽しみ、ギターとハーモニカの伴奏で歌って、最期は一本締めで閉会。紅白饅頭もいただいて皆さんで長寿をお祝いすることができました。



10月 運動会

今年の運動会も入居者様は楽しみにされ、事前の準備も熱心に取り組まれていました。定番の競技も盛り上がり、今年から初めて実施した外に出て買い物ついでウォークラリーも大好評で楽しい一日になりました。

11月 薬師池公園(紅葉散策)



午前中から薬師池公園へ。綺麗に色づいた木々を見ながら池の周りを散歩し、紅葉を楽しみました。お昼は公園内で、おにぎり弁当とみかんを食べました。天候にも恵まれ、皆様喜んで下さり、楽しい時間を過ごす事ができました。

12月① クリスマス会



職員の二人羽織で盛り上がり、クリスマスソングなどを歌った後、サンタさんからのプレゼント贈呈には笑顔で喜ばれる姿も。クリスマス特製のランチを皆様で美味しくいただきました。午後はクリスマスケーキを入居者様と一緒に手作りし、沢山の笑顔が溢れる賑やかな会となりました。

1月 お正月



元旦のおせちは品数も多くどれからにしようかと迷いながら嬉しそうに召し上がっていました。初詣は手にお賽銭を握り、近くの神社へ。皆様お願い事をするときは真剣な表情でした。どんど焼きは、風が少し強かったですが、火の近くまで行って暖まり、縁起物の繭玉をもらって皆様喜んで召し上がっていました。

ハンドマッサージ(アロマハンドトリートメント)

昨年末から2回目となる実施。数種類ある中から好きな香りを選んでいただき、手全体になじませると「あなたの手は温かいね」「よい香りがするね」「気持ちがいいわね」と。冷たかった手も温まりほんのりピンク色に。肌に触れることで不安な気持ちやストレスが緩和され、施術者も「共に癒されるケア」になりました。



(木曾東グループホーム園スタッフ 菊地・生駒・金井・大橋・清水・山根)

特別養護老人ホーム・暖家

～クリスマスイベント行いました～

特別養護老人ホーム・暖家のクリスマスのイベントでは、総務からサンタクロースが遊びに来て下さいました。やさしいウクレレの音色と知っている音楽に、じっくりと耳を傾けていらっしゃいました。



12月24日のクリスマスには、地下1階のデイサービスにお邪魔して大きなクリスマスツリーの前で、ご家族様と一緒に写真撮影会を行いました。いつもの面会ではパーティーション越しでのお話も、この日は特別にお隣に座ってご歓談頂きました。(特養老人ホーム・暖家 主任 永田朋子)

ケアマネジメントセンター

～ケアマネジャーの不足と令和6年度介護保険制度改正～

ケアマネジャーは、居宅でお暮しになっている要介護状態にある高齢者の方々が、住み慣れた地域でより良い暮らしを送るために、お一人お一人の生活環境やニーズに合わせたケアプラン作成を行う係です。

もし、皆さまが介護保険の認定をとり、介護保険サービスを利用したいとお考えになったときに、最初の窓口になりご相談を受けて行政連絡やサービス調整、介護保険の給付手続きをケアマネジャーが行います。

しかし、最近、この地域において、介護保険サービスを利用したいがなかなかケアマネジャーが見つからないというお声が良く聞かれるようになってきました。

大きな理由としては、高齢者の急増により介護を必要としている方が増え、ケアマネジャーを含めた介護の担い手が不足してきていることがあげられます。その為、介護サービスを利用したくても、ケアマネジャーが見つからなくて困っている方が増えているようです。

近年、日本の人口は減少しており、特に生産年齢人口の減少が続き、2040年にかけてその傾向がさらに大きくなることが予測されています。私たちの事業所近辺でも、ケアマネジャーやヘルパーが高齢化し人員不足により事業を終了した事業所が出ています。

私たちの事業所もケアマネジャーが5人おり常にフル稼働で頑張っておりますが、ケアプラン作成のご依頼を受けても、すぐにお受けすることが難しく、初回の面談やご訪問まで1か月以上お待たせしてしまうことも出てきました。

国は、近い将来高齢社会のピークを迎えるにあたり、介護ニーズの急増と働き手不足という課題に直面し、数年前から「介護分野に関しての生産性向上」への取り組みを最優先課題としています。

この「介護分野における生産性向上」というのは、人口減少の中、限られた人数で専門性の高い介護サービスを提供するために、職員が介護業務に集中でき、いきいきと働くことのできる環境を作るために行う日ごろの業務改善です。例えば、ロボット・センサー・ICT機器の積極的活用を行い、人が行うことを機器の活用工夫で余裕を作ることなどもそうです。この方向性は令和6年4月の介護保険制度改正でも強く打ち出しています。

介護にかかわる担い手が介護の質を確保しながら、人手不足の中であっても地域における安心の担い手として役割を果たし続けるために、国はガイドラインを作成し私たちに示してもいます。

私たちケアマネジャーも長年あたり前としてきたことを見直し日々の業務改善に取り組み、自分たちの健康も守りながら、少しでも多くの方のお役に立てるよう目指しています。

(ケアマネジメントセンター 副主任 坂井夕佳)

スタッフの紹介 (2022.11～入職)



特養老人ホーム・暖家
木谷裕一 川崎敏博
塩崎奈穂子 塚田陽子
渡邊文子

看護グループ
西山美恵 大峯祐代

デイサービス
松田廣 斯波美智子

総務管理課
服部健吾

グループホーム
金井藍

一般寄付者ご芳名
(11/1～1/31)

戸高喜代兎様
森幸子様
林一枝様

特別養護老人ホーム・暖家 職員募集

◇介護職員・・・介護スタッフ経験者歓迎、年齢不問。 ◇事務員

◇介護助手・・・無資格、未経験、可。介護スタッフの補助。

詳細はお問合せ下さい。 総務管理課 TEL 042-720-2202

